

(財)女性のためのアジア平和国民基金

# 第10回理事会

平成8年6月

# 第10回理事会議事録


財団法人女性のためのアジア平和国民基金


議事録

## 1、開催日時・場所

平成8年6月13日(水) 14:00~15:30  
基金事務局

## 2、出席者

- ▼理事会 原理事長、有馬副理事長、金田理事、下村理事、山口理事、橋本監事
- ▼オブザーバー 呼びかけ人衛藤藩吉氏、呼びかけ人大鷹淑子氏、宮崎勇氏  
内閣官房外政審議室/東審議官
- ▼事務局 和田事務局長、安齋総務部長、多賀業務第一部長、松田業務第二部長、事務局長、岡事務局員

- ## 3、議事録署名人
- |     |       |
|-----|-------|
| 理事長 | 原文兵衛  |
| 理事  | 下村 満子 |
| 理事  | 山口 達男 |
- 

## 4、議事次第

---

### ■報告および審議事項

#### ▼平成7年度事業報告及び決算案承認について

- ・添付資料にもとづき、平成7年度事業報告及び収支決算の説明が事務局より行われた。
- ・橋本監事より、監査の結果、決算書類は適正である旨の報告があり、審議の結果、原案どおりに承認された。

#### ▼医療・福祉プロジェクト作業部会について

- ・同作業部会の第一回会合について、報告があった。  
6月11日、外政審議室にて第一回作業部会が開かれ、有馬副理事長、大鷹理事、金田理事、金平理事および外務省、外政審議室、基金事務局より数名ずつが出席した。当日、部会長として金平理事が選任された。添付資料にもとづいて、政府側より各国の福祉の現状等の説明があり、その後プロジェクトの案について意見交換が行われた。
- ・この報告をふまえ、今後の進め方等について審議した。  
作業部会のみでプロジェクトの細部まで決めこむには無理がある。部会においてはまず、政府側と協議しながら基本の方針を定め、各プロジェクトの具体的内容については個別に詰めるべきとの意見が出され、賛意を得た。
- ・プロジェクトの基本の方針を詰めることについては、継続審議となった。

#### ▼議事録の公開について

- ・かねてよりマスコミや運動団体より議事録を公開してほしいとの申し入れが来ており、公益法人として基金の寄付行為も公開を当然の前提としていることから、公開に関する細則を定め、事務局で閲覧に向けての整備を進めることとなった。

#### ▼韓国、フィリピン、台湾への新聞広告掲載について

- ・対象の国/地域に対し、基金活動の趣旨、呼びかけ文等をのせた広告を出してはど

- うかとの意見について、そのメリット/デメリット、タイミング等を討議した。
- ・首相の訪韓が近づいているので、その後の反響等を見て再度協議することとなった。

▼国内の新聞広告掲載について

- ・周囲の注目が高まっているこの時期に合わせ、再度新聞広告を掲載すれば効果があるのではないか、との意見が出され、討議した。
- ・基金からのメッセージを送るという点においては、むしろ募金者へのフィードバックを優先するべきであるという意見が出され、賛意を得た。基金ニュース第6号を作成し、これまでの募金者全員に郵送することとなった。

▼拠金者懇談会について

- ・日本婦人会議有志の提案により、基金活動の趣旨、最近の動向等について理解を共有することを目的に、「アジア女性基金拠金者懇談会」が開催されることとなった。基金は、この懇談会への協力者という立場で講師を派遣することとなり、また、前述の基金ニュースの中で同懇談会の開催を広報することとなった。

▼募金状況について

- ・添付資料のとおり、募金状況が報告された。6月18日現在、401,254,182円である。

以上